

# 令和7年度学校保健統計調査（確定値）

## 大分県の概要

令和8年3月

大分県教育委員会 体育保健課

# 目次

I 調査の概要	1
利用上の注意	3
II 調査結果の概要	
I 発育状態	
(1) 身長	4
(2) 体重	5
2 健康状態	
主な疾病・異常の被患率	6
3 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率	
肥満傾向児の出現率	16
痩身傾向児の出現率	19
4 【参考】肥満・痩身傾向児の算出方法について	22

# 令和7年度学校保健統計調査の概要

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

### 2 実施主体

文部科学省

### 3 調査期間

令和7年(2025年)4月1日～令和7年(2025年)6月30日の間に実施。

### 4 調査の範囲、対象及び調査事項

#### (1) 調査の範囲

幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校(以下「調査実施校」という。)

#### (2) 調査の対象

調査実施校に在籍する満5歳から17歳(令和7年4月1日現在)の幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の一部(抽出調査)。

区分	調査実施校数	調査対象者数	
		発育状態	健康状態
幼稚園	1,645 (校)	50,919 (人)	63,712 (人)
小学校	2,820	261,632	1,260,558
中学校	1,880	213,338	800,605
高等学校	1,410	121,734	1,018,713
計	7,755	647,623	3,143,588
抽出率		全幼児、児童及び生徒の5.2%を抽出	全幼児、児童及び生徒の25.4%を抽出

(注) 1. 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

2. 幼稚園には幼保連携型認定こども園を、小学校には義務教育学校の第1～6学年を、中学校には中等教育学校の前期課程及び義務教育学校の第7～9学年を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む(以下同じ)。

## 5 調査事項

学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき、児童等の発育状態及び健康状態を調査。

(1) 児童等の発育状態に関する事項(身長、体重)

(2) 児童等の健康状態に関する事項(栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿及びその他の疾病・異常有無)

## 6 調査系統(大分所轄分)

文部科学大臣 — 大分県知事 — 調査実施校の長

## 7 調査実施校の長による自計報告

## 利用上の注意

- 1 本概要は、文部科学省の「令和7年度学校保健統計調査（確定値）」に基づき作成したものです。
  - 2 本調査は標本調査のため、統計表の数値（推定値）には標準誤差が含まれている。  
標準誤差の大きさを本調査では標準誤差の値で示しており、推定値を中心として、その前後に標準誤差の2倍ずつの幅をとれば、その区間を真の値を約95%の確率で含んでいると考えてよい。
  - 3 構成比及び比率については、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が一致しない場合があります。
  - 4 令和2年度から令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される各学校の健康診断について、当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長することになりました。  
  
このため、令和2年度から令和5年度の調査については、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっていることから、令和元年度以前及び令和6年度以降の数値と単純比較することはできません。
- 4 表中に用いた符号
- 「-」 負数（減少）
  - 「×」 標本サイズが小さい、又は標準誤差が大きいため統計数値を公表しない場合。
- 5 全国の調査結果（確報値）に係る詳細な集計表は「政府統計の総合窓口（e-Stat）」からご覧ください。

## II 調査結果の概要

### I 発育状態

#### (1) 身長

身長は、全国平均値と比較すると、男子はすべての年齢で下回っており、女子は7歳、11歳を除いた年齢で下回っている。また、男子と女子を比較すると、女子が9歳、10歳で男子を上回っている。

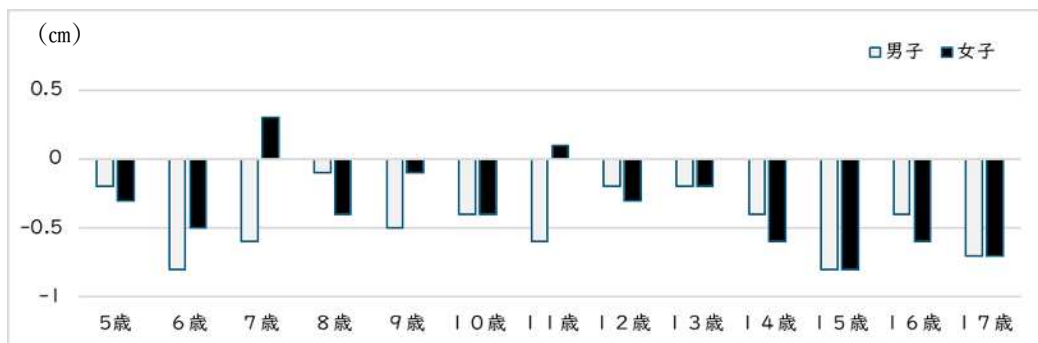
表1 年齢×身長の平均値(全国対比)

(単位：cm)

区分	大分		全国		対全国差 (a-b)			
	平均値 (a)	標準偏差	平均値 (b)	標準偏差				
男子	幼稚園	5歳	110.2	4.87	110.4	4.79	-0.2	
	小学校	6歳	115.8	5.02	116.6	4.97	-0.8	
		7歳	122.1	5.30	122.7	5.22	-0.6	
		8歳	128.2	5.54	128.3	5.51	-0.1	
		9歳	133.5	5.59	134.0	5.81	-0.5	
		10歳	139.1	6.73	139.5	6.37	-0.4	
		11歳	145.5	7.14	146.1	7.37	-0.6	
	中学校	12歳	153.6	8.36	153.8	8.06	-0.2	
		13歳	160.9	7.28	161.1	7.46	-0.2	
		14歳	165.7	6.42	166.1	6.52	-0.4	
		高等学校	15歳	167.8	6.21	168.6	5.93	-0.8
			16歳	169.5	5.64	169.9	5.89	-0.4
			17歳	169.9	5.58	170.6	5.99	-0.7
	女子	幼稚園	5歳	109.2	4.57	109.5	4.78	-0.3
小学校		6歳	115.1	5.07	115.6	4.98	-0.5	
		7歳	121.9	5.29	121.6	5.22	0.3	
		8歳	127.1	6.00	127.5	5.72	-0.4	
		9歳	133.7	6.26	133.8	6.31	-0.1	
		10歳	140.5	6.85	140.9	6.85	-0.4	
		11歳	147.5	6.72	147.4	6.70	0.1	
中学校		12歳	152.1	5.66	152.4	5.83	-0.3	
		13歳	154.8	5.41	155.0	5.44	-0.2	
		14歳	155.8	5.16	156.4	5.38	-0.6	
高等学校		15歳	156.2	5.45	157.0	5.42	-0.8	
		16歳	156.9	5.42	157.5	5.37	-0.6	
		17歳	157.2	4.93	157.9	5.45	-0.7	

注) 標準偏差：データの平均値からの散らばり具合(ばらつき)を示す指標

図1 年齢別身長の平均値の大分と全国の差



## (2)体重

体重は、全国平均値と比較すると、男子は5歳、6歳を除いたすべての年齢で上回り、女子は5歳、16歳を除いたすべての年齢で上回っている。

また、男子と女子を比較すると、11歳を除いたすべての年齢で男子が女子を上回っている。

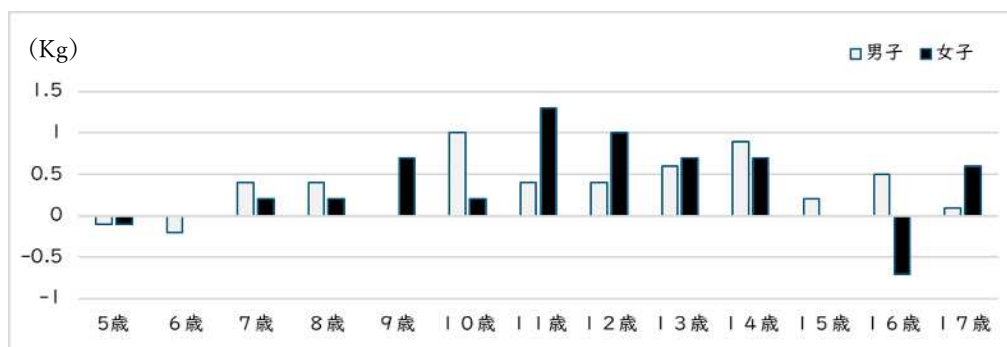
表2 年齢別体重の平均値(全国対比)

(単位：kg)

区分	大分		全国		平均値		
	平均値 (a)	標準偏差	平均値 (b)	標準偏差	対全国差 (a-b)		
男子	幼稚園	5歳	18.9	2.87	19.0	2.62	-0.1
	小学校	6歳	21.2	3.95	21.4	3.37	-0.2
		7歳	24.6	4.89	24.2	4.20	0.4
		8歳	27.8	5.95	27.4	5.28	0.4
		9歳	31.2	6.90	31.2	6.65	0.0
		10歳	36.1	8.92	35.1	7.94	1.0
	中学校	11歳	40.0	9.01	39.6	9.09	0.4
		12歳	45.6	10.22	45.2	10.17	0.4
		13歳	51.0	10.00	50.4	10.44	0.6
	高等学校	14歳	55.9	10.70	55.0	10.45	0.9
		15歳	59.3	11.13	59.1	10.97	0.2
		16歳	60.8	10.14	60.3	10.22	0.5
		17歳	62.3	11.50	62.2	10.74	0.1
	女子	幼稚園	5歳	18.6	2.59	18.7	2.59
小学校		6歳	21.0	3.60	21.0	3.30	0.0
		7歳	23.8	4.37	23.6	3.96	0.2
		8歳	27.0	5.34	26.8	5.04	0.2
		9歳	31.1	6.72	30.4	6.18	0.7
		10歳	35.1	7.31	34.9	7.39	0.2
中学校		11歳	41.1	8.62	39.8	8.11	1.3
		12歳	45.4	8.77	44.4	8.19	1.0
		13歳	48.2	8.02	47.5	7.80	0.7
高等学校		14歳	50.4	8.95	49.7	7.75	0.7
		15歳	51.0	8.08	51.0	7.96	0.0
		16歳	51.2	8.05	51.9	7.97	-0.7
		17歳	53.1	8.26	52.5	8.08	0.6

注) 標準偏差：データの平均値からの散らばり具合（ばらつき）を示す指標

図2 年齢別体重の平均値の大分と全国の差



## 2 健康状態

### (1) 疾病・異常の被患率等の状況

学校種別に疾病・異常の被患率等をみると、幼稚園、小学校では「むし歯(う歯)」の比率が最も高く、中学校、高等学校では「裸眼視力1.0未満の者」の比率が最も高くなっている。

また、「むし歯(う歯)」「裸眼視力1.0未満の者」以外は、幼稚園では「歯列・咬合」、小学校、中学校では「鼻・副鼻腔疾患」、高等学校では「歯肉の状態」の比率が高くなっている。

表3 学校種別疾患・異常の被患率等

区分 (%)	幼稚園 (5歳)	小学校 (6~11歳)	中学校 (12~14歳)	高等学校 (15~17歳)	
90以上					
80~90未満					
70~80					
60~70				裸眼視力1.0未満 64.2	
50~60			裸眼視力1.0未満 57.8		
40~50				むし歯(う歯) 47.5	
30~40		むし歯(う歯) 39.8 裸眼視力1.0未満 37.0	むし歯(う歯) 31.9		
20~30	むし歯(う歯) 26.8				
10~20		鼻・副鼻腔疾患 14.9	鼻・副鼻腔疾患 10.4		
1~10	8~10				
	6~8		歯列・咬合 7.1	歯肉の状態 6.2	
	4~6	歯列・咬合 4.1	歯垢の状態 6.0 歯肉の状態 4.6 耳疾患 4.4 眼の疾病・異常 4.0	耳疾患 5.1 歯列・咬合 4.9 歯垢の状態 4.7	歯列・咬合 5.5 歯垢の状態 5.3
	2~4		歯・口腔のその他の疾病・異常 3.8 その他の疾病異常 3.6 口腔咽喉頭疾患・異常 3.2 ぜん息 2.8 アトピー性皮膚炎 2.0 心電図異常 2.0	歯肉の状態 3.9 その他の疾病異常 3.0 心電図異常 2.7 眼の疾病・異常 2.6 せき柱の状態 2.6 ぜん息 2.3 アトピー性皮膚炎 2.3 蛋白検出の者 2.2 歯・口腔のその他の疾病異常 2.2	その他の疾病異常 3.8 心電図異常 2.4 蛋白検出の者 2.4
	1~2	アトピー性皮膚炎 1.9 蛋白検出の者 1.6 歯・口腔のその他の疾病・異常 1.1 鼻・副鼻腔疾患 1.1	せき柱の状態 1.6 栄養状態 1.3	栄養状態 1.1	眼の疾病・異常 1.8 鼻・副鼻腔疾患 1.0
0.1~1	0.5~1	その他の疾病・異常 0.9 耳疾患 0.6 その他の皮膚疾患 0.6 言語障害 0.6 ぜん息 0.5 歯垢の状態 0.5	蛋白検出の者 0.8 難聴 0.6	口腔咽喉頭疾患・異常 0.8 顎関節 0.6 心臓の疾病異常 0.6	ぜん息 0.9 アトピー性皮膚炎 0.8 歯・口腔のその他の疾病 0.7 せき柱の状態 0.7 顎関節 0.6 心臓の疾病異常 0.6
	0.1~0.5	眼の疾病・異常 0.3 栄養状態 0.2 心臓の疾病異常 0.1 歯肉の状態 0.1	四肢の状態 0.3 心臓の疾病異常 0.3 言語障害 0.2 腎疾患 0.2 その他の皮膚疾患 0.1 顎関節 0.1	四肢の状態 0.4 難聴 0.3 尿糖検出の者 0.3 腎疾患 0.2 言語障害 0.1	栄養状態 0.3 腎疾患 0.2 難聴 0.2 口腔咽喉頭疾患・異常 0.1 胸郭の状態 0.1 尿糖検出の者 0.1 結核 0.1 その他の皮膚疾患 0.1
0.1未満	胸郭の状態 0.0 腎疾患 0.0 顎関節 0.0	胸郭の状態 0.0 尿糖検出の者 0.0	胸郭の状態 0.0 その他の皮膚疾患 0.0	言語障害 0.0 四肢の状態 0.0	

(注) 1 疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

2 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語以上のある者等である。

3 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者である。

4 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。

5 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。

6 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出(陽性(+)以上)又は擬陽性(±)と判定された者である。

7 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出(陽性(+)以上)と判定された者である。

(2) 主な疾病・異常の被患率

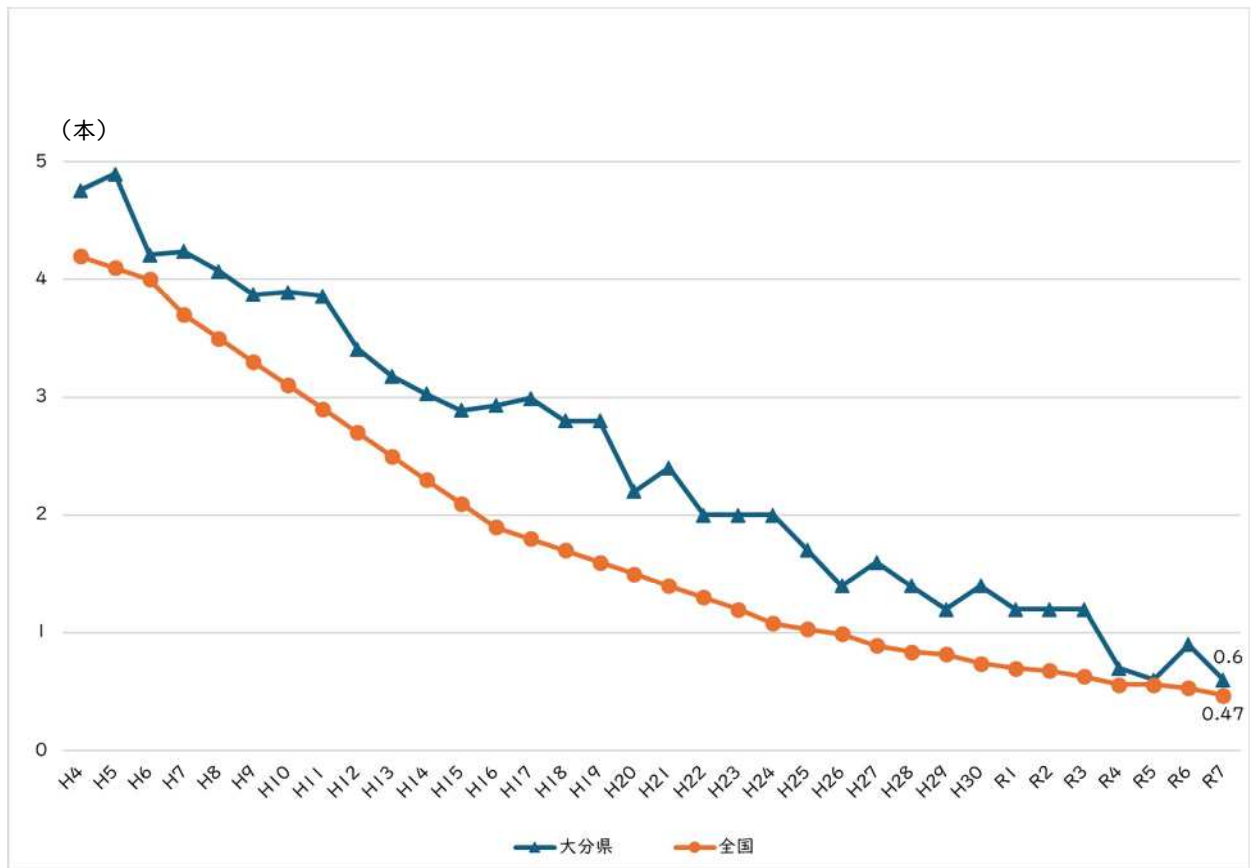
① むし歯(う歯)

ア 12歳児一人平均むし歯本数は、年々減少している。令和7年度は大分県 0.6本であり、全国 0.47本を上回っている。

イ 全国平均値と比較すると、「むし歯(う歯)」の者(未処置歯のある者と処置完了者の合計)の割合は、すべての年齢で上回っている。

ウ 年齢別の割合は、5歳から8歳までは年齢とともに上昇、9歳から12歳までは低下し、13歳以降は上昇している。割合が最も高い年齢は、17歳で54.3%である。

図3 12歳児一人平均むし歯本数の経年推移(平成4年度～令和7年度)



	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
全国	4.2	4.1	4.0	3.7	3.5	3.3	3.1	2.9	2.7	2.5	2.3	2.1	1.9	1.8	1.7
大分県	4.76	4.9	4.21	4.24	4.07	3.87	3.89	3.86	3.41	3.18	3.03	2.89	2.93	2.99	2.8

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全国	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.08	1.03	0.99	0.89	0.84	0.82	0.74	0.7	0.68	0.63
大分県	2.8	2.2	2.4	2.0	2.0	2	1.7	1.4	1.6	1.4	1.2	1.4	1.2	1.2	1.2

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
全国	0.56	0.56	0.53	0.47
大分県	0.7	0.6	0.9	0.6

図4 12歳児一人平均むし歯本数の都道府県比較

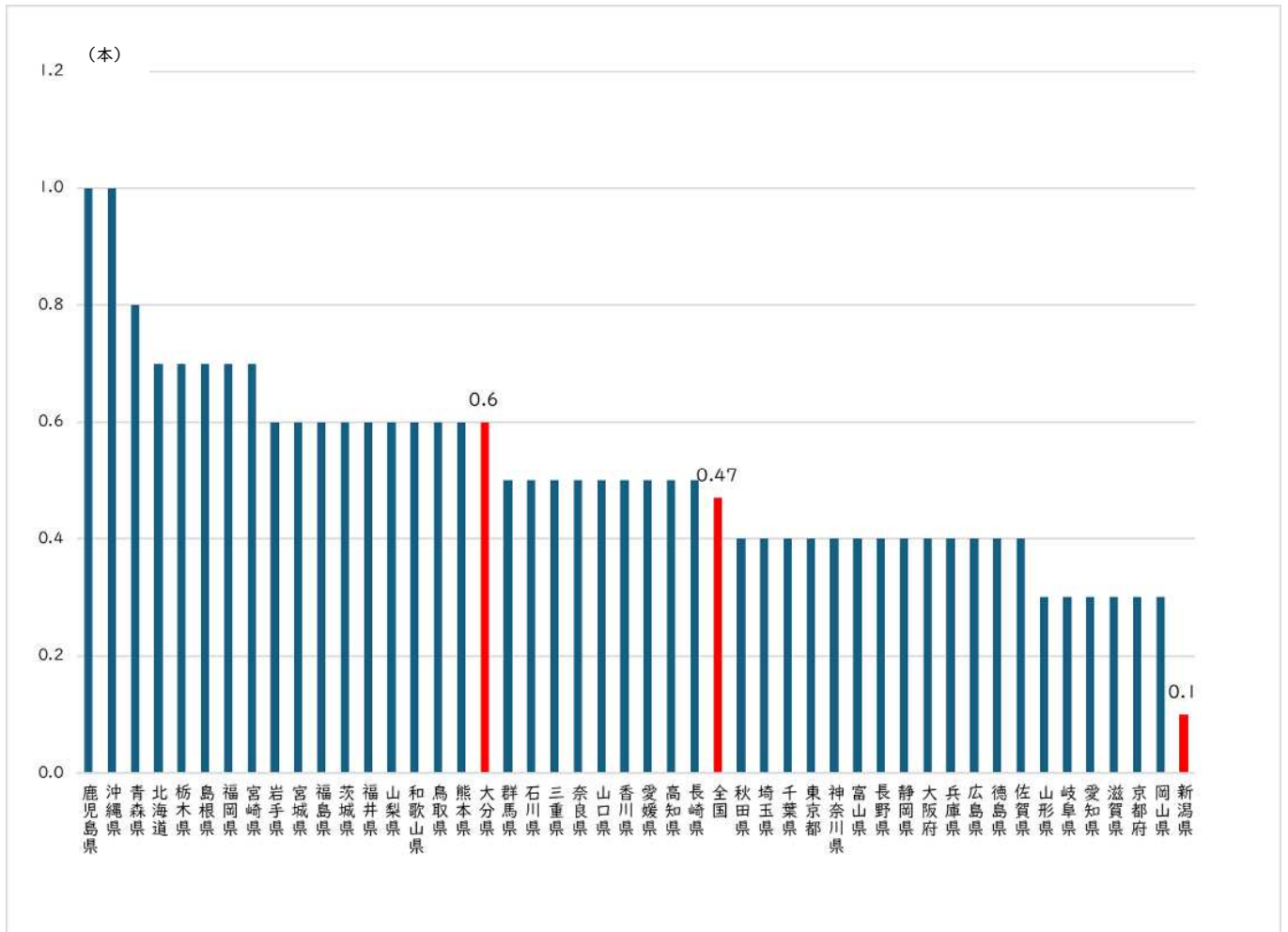
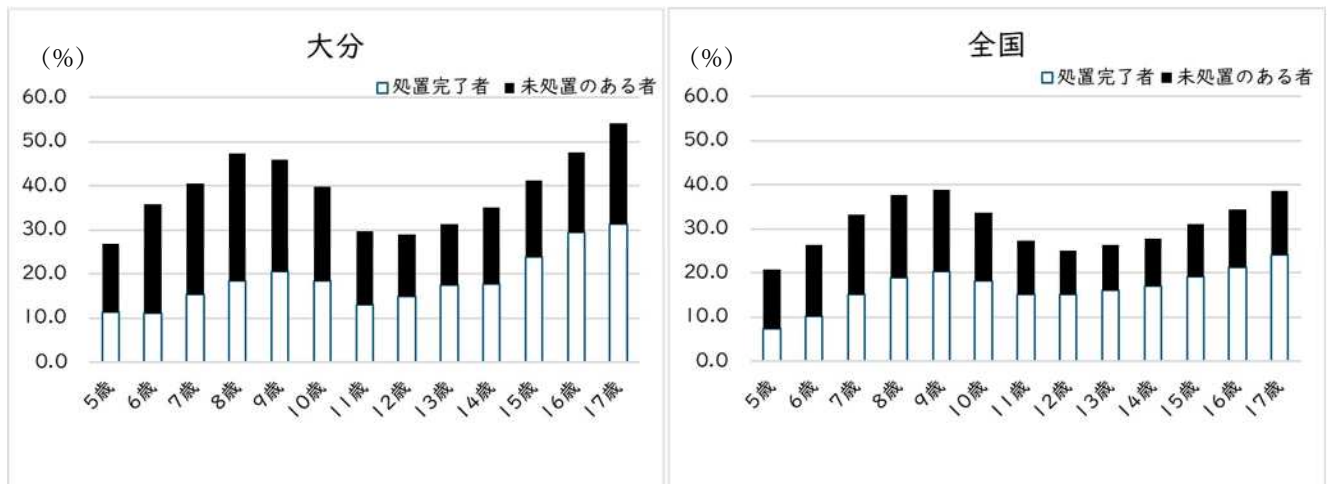


表4 おし歯(う歯)の者の割合の全国値との比較

区分		大分			全国		
		計	処置完了者	未処置のある者	計	処置完了者	未処置のある者
幼稚園	5歳	26.8	11.4	15.5	19.4	7.0	12.5
	小学校	6歳	35.8	11.0	24.8	24.4	9.2
	7歳	40.4	15.4	25.1	30.7	13.9	16.8
	8歳	47.4	18.3	29.1	36.1	17.7	18.4
	9歳	45.8	20.4	25.5	36.8	19.0	17.8
	10歳	39.8	18.5	21.3	32.0	16.9	15.2
	11歳	29.7	12.9	16.8	24.6	13.3	11.3
中学校	12歳	29.0	14.8	14.2	23.1	13.4	9.7
	13歳	31.3	17.5	13.9	25.0	15.2	9.9
	14歳	35.2	17.7	17.5	27.5	16.8	10.7
高等学校	15歳	41.3	23.9	17.4	28.3	18.0	10.3
	16歳	47.5	29.4	18.1	33.3	21.2	12.1
	17歳	54.3	31.3	22.9	36.9	23.1	13.8

図5 おし歯(う歯)の者の割合の全国値との比較



## ②裸眼視力

ア 全国平均値と比較すると、「裸眼視力1.0未満」の者の割合は、7歳、8歳、11歳、13歳で上回っている。

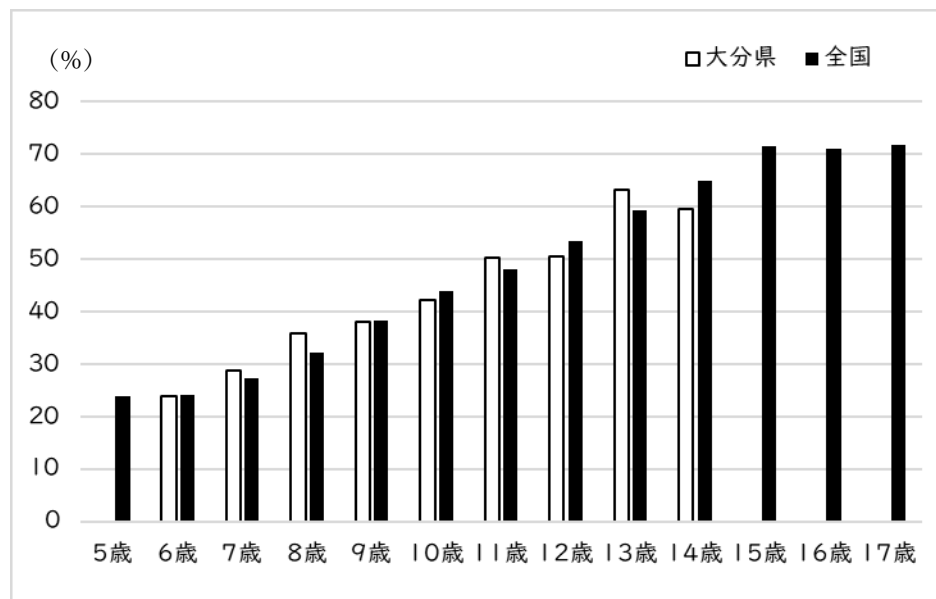
表5 裸眼視力1.0未満の者の割合の大分と全国の比較

(単位：%)

		大分県	全国
幼稚園	5歳	×	23.9
小学校	6歳	23.9	24.1
	7歳	28.9	27.4
	8歳	35.8	32.2
	9歳	38.2	38.4
	10歳	42.2	44.1
	11歳	50.3	48.0
中学校	12歳	50.5	53.5
	13歳	63.3	59.4
	14歳	59.5	64.9
高等学校	15歳	×	71.5
	16歳	×	71.2
	17歳	×	71.9

注) 「×」：標本サイズが小さい等のため統計数値を公表していない。

図6 裸眼視力1.0未満の者の割合の大分と全国の比較



### ③鼻・副鼻腔疾患

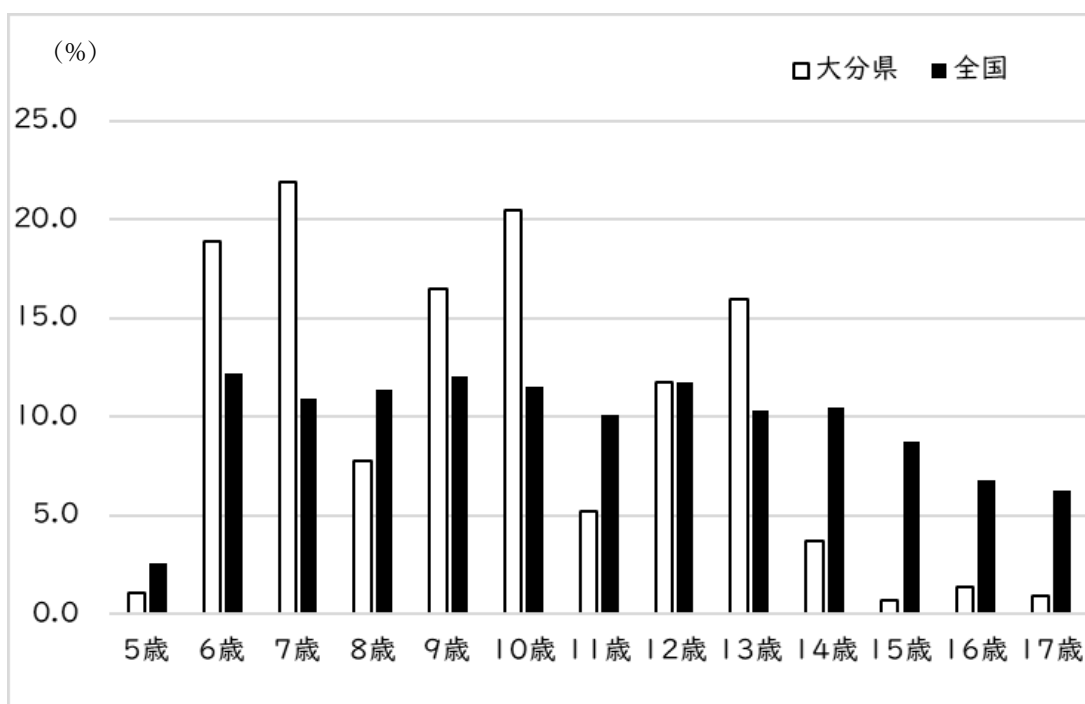
ア 全国平均値と比較すると、「鼻・副鼻腔疾患」（蓄膿症、アレルギー性鼻炎等）の者の割合は、6歳、7歳、9歳、10歳、13歳で上回っている。

表6 鼻・副鼻腔疾患の者の割合の大分と全国の比較

(単位：%)

		大分県	全国
幼稚園	5歳	1.1	2.6
小学校	6歳	18.9	12.3
	7歳	21.9	11.0
	8歳	7.8	11.4
	9歳	16.5	12.0
	10歳	20.5	11.5
	11歳	5.2	10.1
中学校	12歳	11.8	11.8
	13歳	16.0	10.3
	14歳	3.7	10.5
高等学校	15歳	0.7	8.8
	16歳	1.4	6.8
	17歳	0.9	6.3

図7 鼻・副鼻腔疾患の者の割合の大分と全国の比較



#### ④アトピー性皮膚炎について

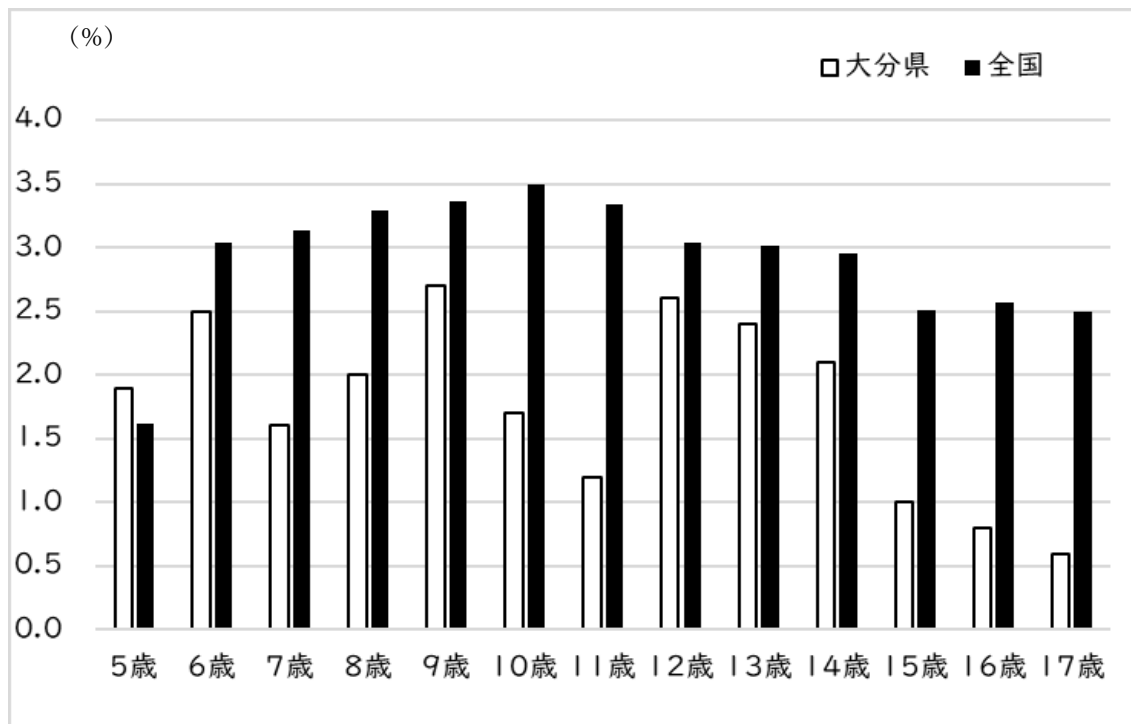
ア 全国平均値と比較すると、アトピー性皮膚炎の者の割合は 5歳を除くすべての年齢で下回っている。

表7 アトピー性皮膚炎の割合の大分と全国の比較

(単位：%)

		大分県	全国
幼稚園	5歳	1.9	1.6
小学校	6歳	2.5	3.0
	7歳	1.6	3.1
	8歳	2.0	3.3
	9歳	2.7	3.4
	10歳	1.7	3.5
	11歳	1.2	3.3
中学校	12歳	2.6	3.0
	13歳	2.4	3.0
	14歳	2.1	3.0
高等学校	15歳	1.0	2.5
	16歳	0.8	2.6
	17歳	0.6	2.5

図8 アトピー性皮膚炎の者の割合の大分と全国の比較



⑤ぜん息について

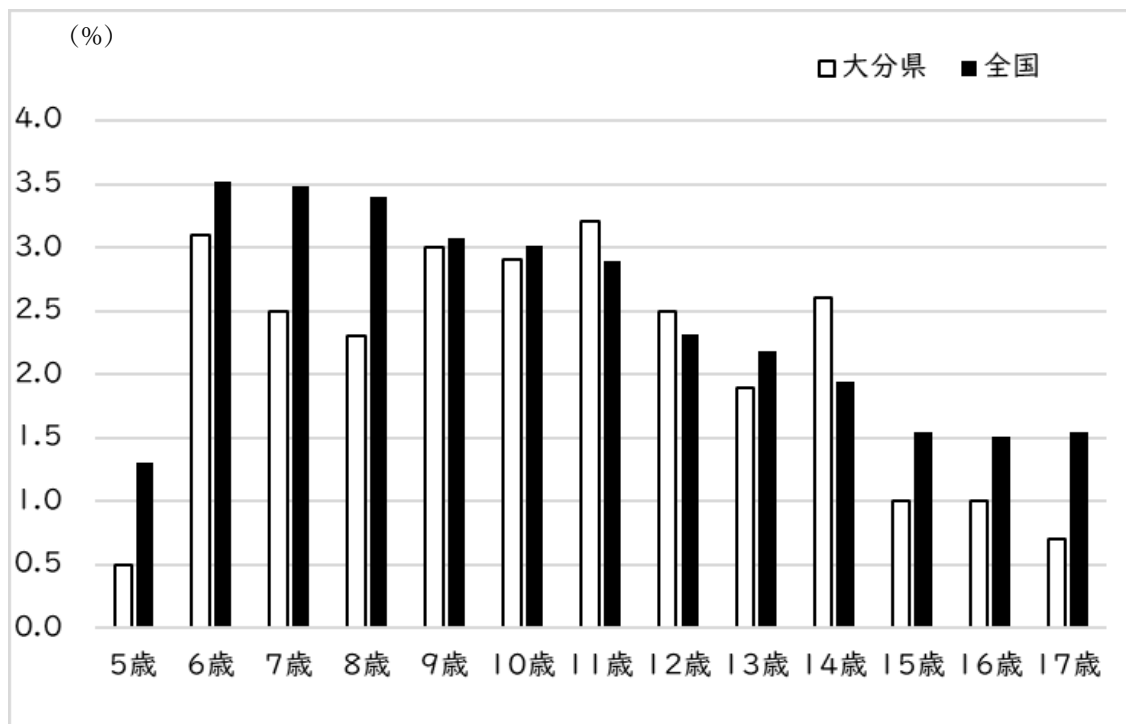
ア 全国平均値と比較すると、ぜん息の者の割合は 11歳、12歳、14歳で上回っている。

表8 ぜん息者の割合の大分と全国の比較

(単位：%)

		大分県	全国
幼稚園	5歳	0.5	1.3
小学校	6歳	3.1	3.5
	7歳	2.5	3.5
	8歳	2.3	3.4
	9歳	3.0	3.1
	10歳	2.9	3.0
	11歳	3.2	2.9
中学校	12歳	2.5	2.3
	13歳	1.9	2.2
	14歳	2.6	1.9
高等学校	15歳	1.0	1.6
	16歳	1.0	1.5
	17歳	0.7	1.5

図9 ぜん息の者の割合の大分と全国の比較



⑥尿蛋白検出の者について

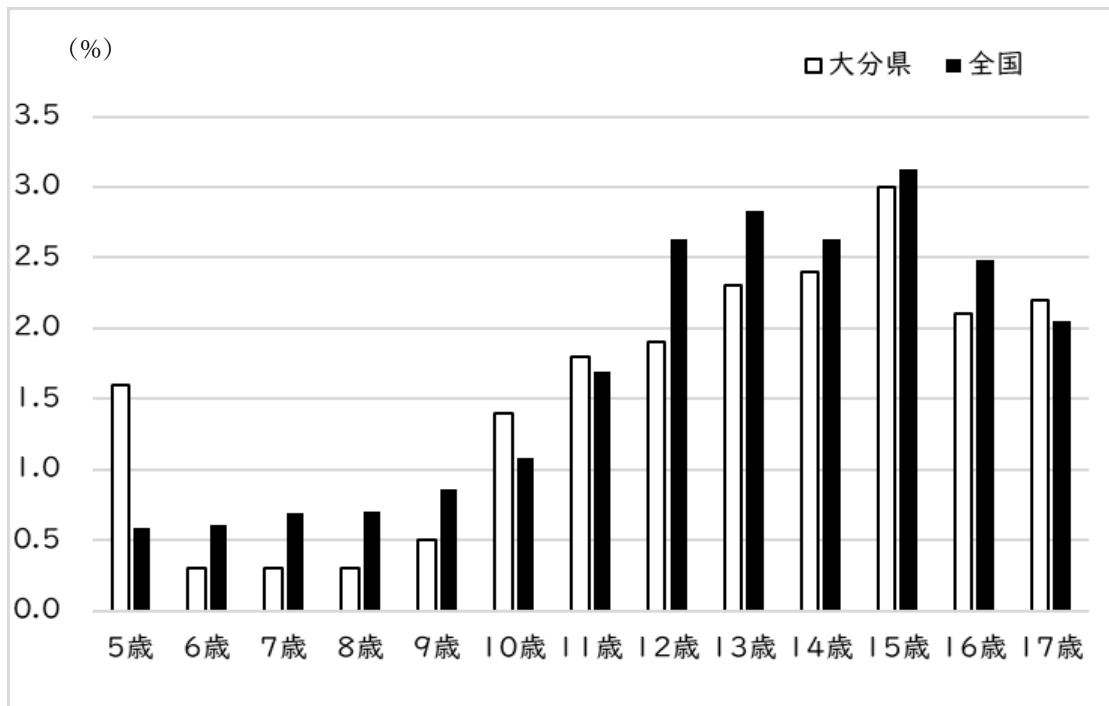
ア 全国平均値と比較すると、尿蛋白検出の者の割合は 5歳、10歳、11歳、17歳で上回っている。

表9 尿蛋白検出の者の割合の大分と全国の比較

(単位：%)

		大分県	全国
幼稚園	5歳	1.6	0.6
小学校	6歳	0.3	0.6
	7歳	0.3	0.7
	8歳	0.3	0.7
	9歳	0.5	0.9
	10歳	1.4	1.1
	11歳	1.8	1.7
中学校	12歳	1.9	2.6
	13歳	2.3	2.8
	14歳	2.4	2.6
高等学校	15歳	3.0	3.1
	16歳	2.1	2.5
	17歳	2.2	2.1

図10 尿蛋白検出の者の割合の大分と全国の比較



⑦尿糖白検出の者について

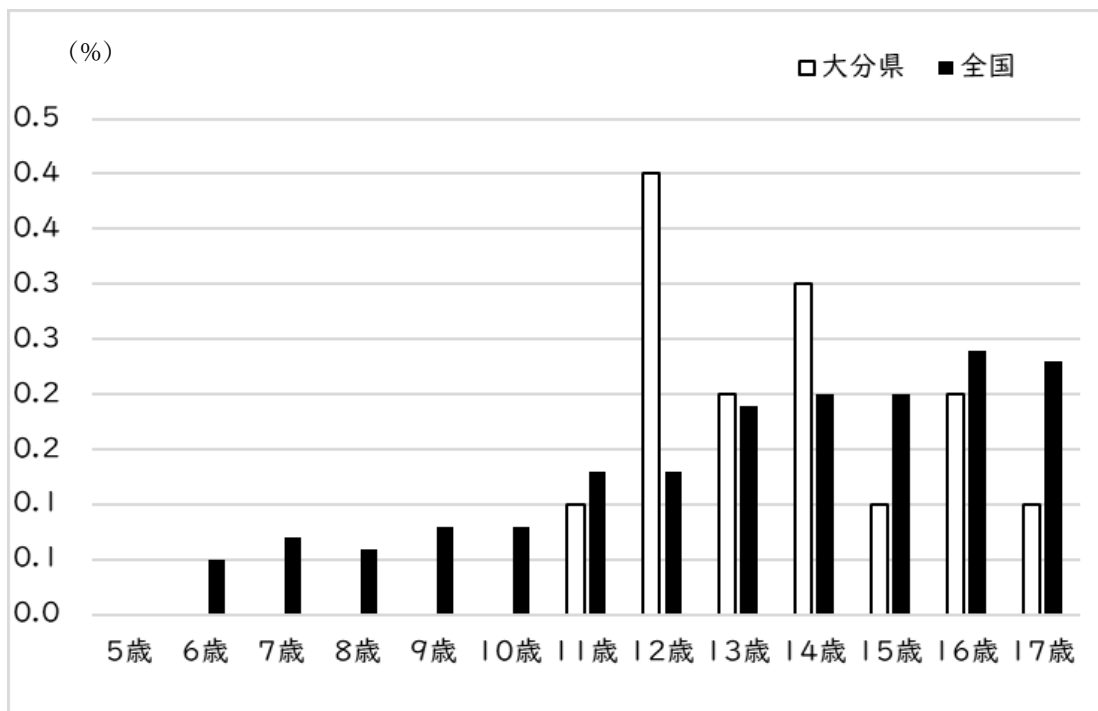
ア 全国平均値と比較すると、尿糖検出の者の割合は 12歳、14歳で上回っている。

表10 尿糖検出の者の割合の大分と全国の比較

(単位：%)

		大分県	全国
幼稚園	5歳		
小学校	6歳	0.0	0.1
	7歳	-	0.1
	8歳	0.0	0.1
	9歳	0.0	0.1
	10歳	-	0.1
	11歳	0.1	0.1
中学校	12歳	0.4	0.1
	13歳	0.2	0.2
	14歳	0.3	0.2
高等学校	15歳	0.1	0.2
	16歳	0.2	0.2
	17歳	0.1	0.2

図11 尿蛋白検出の者の割合の大分と全国の比較



### 3 肥満傾向時及び痩身傾向児の出現率

#### (1) 肥満傾向児の出現率

ア 男女をあわせた肥満傾向児の出現率は、5歳、16歳を除くすべての年齢で全国値を上回っている。

イ 肥満傾向児の出現率が最も高い年齢は、男子が10歳で18.55%、女子が11歳で16.59%である。

図12 肥満傾向児出現率の推移(平成28年度～令和7年度)(大分県男子)

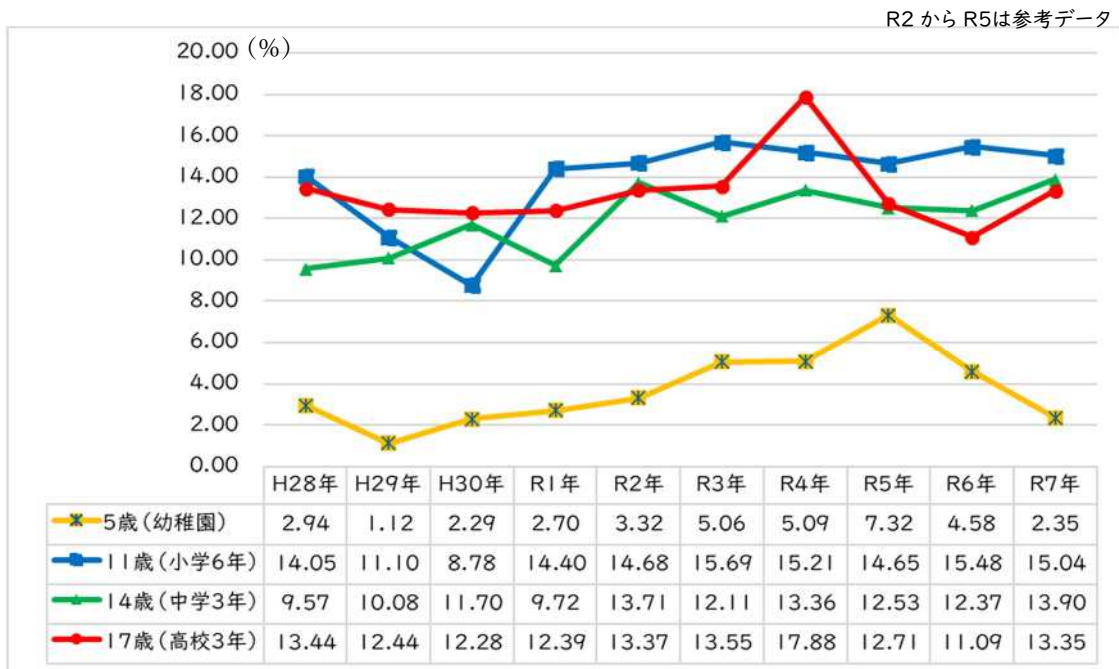


図13 肥満傾向児出現率の推移(平成28年度～令和7年度)(大分県女子)

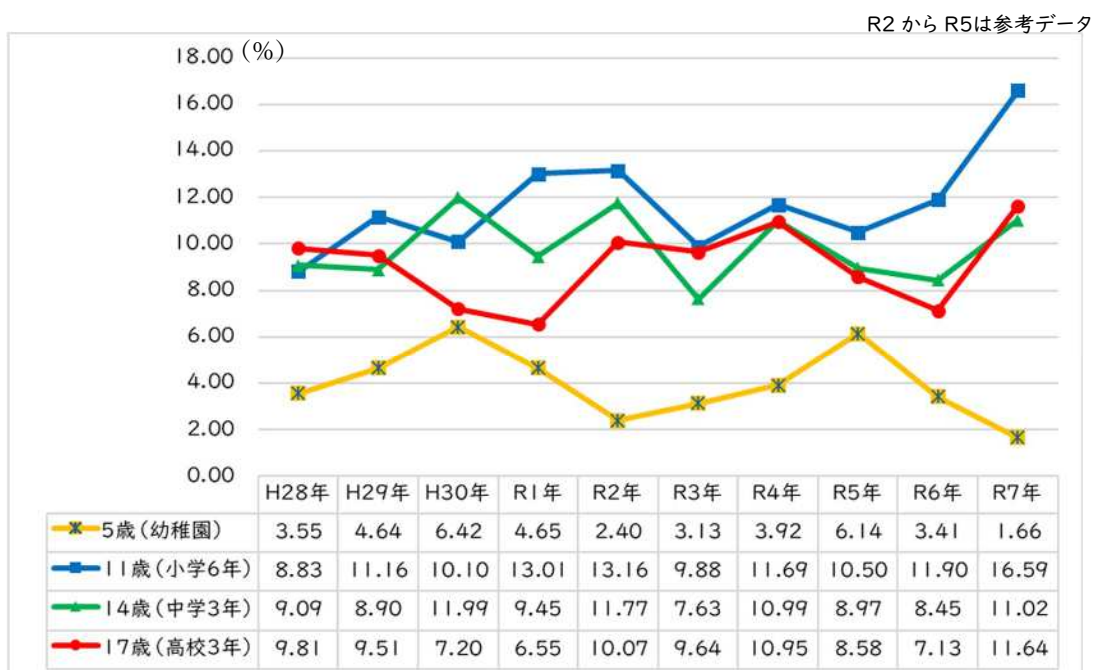


表11 肥満傾向児の出現率の大分と全国の比較

(単位：%)					(単位：%)					(単位：%)				
区分			肥満傾向時児の出現率		区分			肥満傾向時児の出現率		区分			肥満傾向時児の出現率	
			大分	全国				大分	全国				大分	全国
男女計	幼稚園	5歳	2.02	2.86	男子	幼稚園	5歳	2.35	2.66	女子	幼稚園	5歳	1.66	3.06
		6歳	6.62	4.31			小学校	6歳	6.17			4.10	小学校	6歳
	7歳	8.76	6.32	7歳		9.35		6.44	7歳		8.14	6.19		
	8歳	10.08	8.28	8歳		9.84	8.68	8歳	10.34		7.86			
	9歳	14.03	10.29	9歳		13.80	11.59	9歳	14.27		8.93			
	10歳	14.65	11.36	10歳		18.55	13.12	10歳	10.53		9.51			
	11歳	15.80	11.73	11歳		15.04	13.24	11歳	16.59		10.16			
	中学校	12歳	12.92	11.10		中学校	12歳	13.36	12.68		中学校	12歳	12.44	9.46
		13歳	12.40	9.79			13歳	12.36	10.87			13歳	12.44	8.66
		14歳	12.48	9.08			14歳	13.90	10.39			14歳	11.02	7.71
	高等学校	15歳	11.36	10.19		高等学校	15歳	13.61	12.47		高等学校	15歳	9.03	7.79
		16歳	8.29	8.33			16歳	8.92	9.79			16歳	7.65	6.80
		17歳	12.52	9.69			17歳	13.35	10.98			17歳	11.64	8.34

図14 肥満傾向児の出現率の大分と全国の比較(男女)

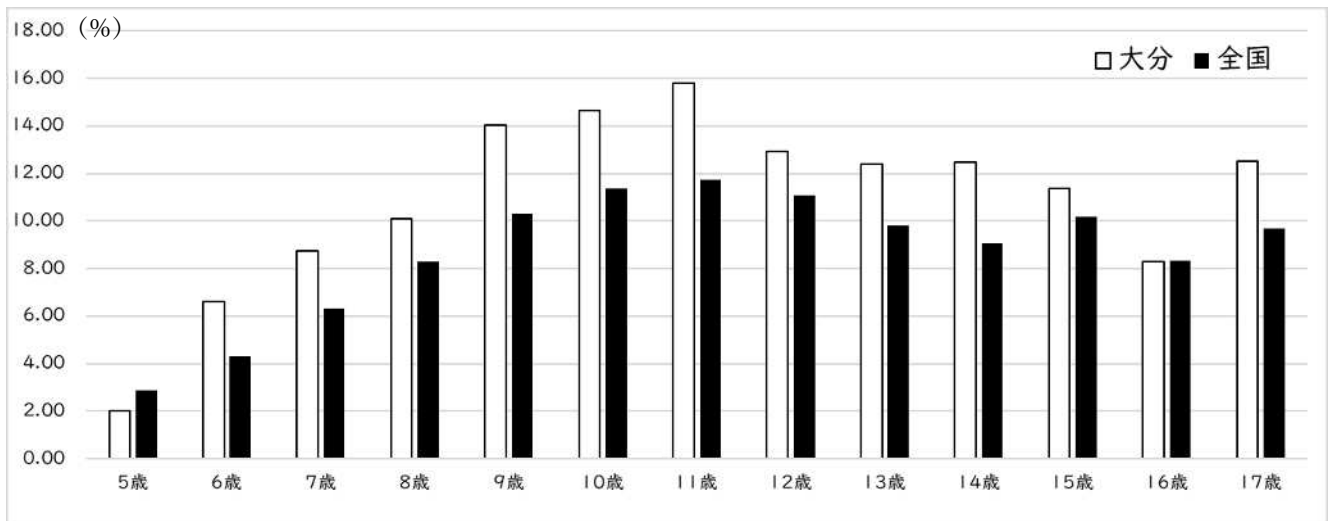


図15 肥満傾向児の出現率の大分と全国の比較(男子)

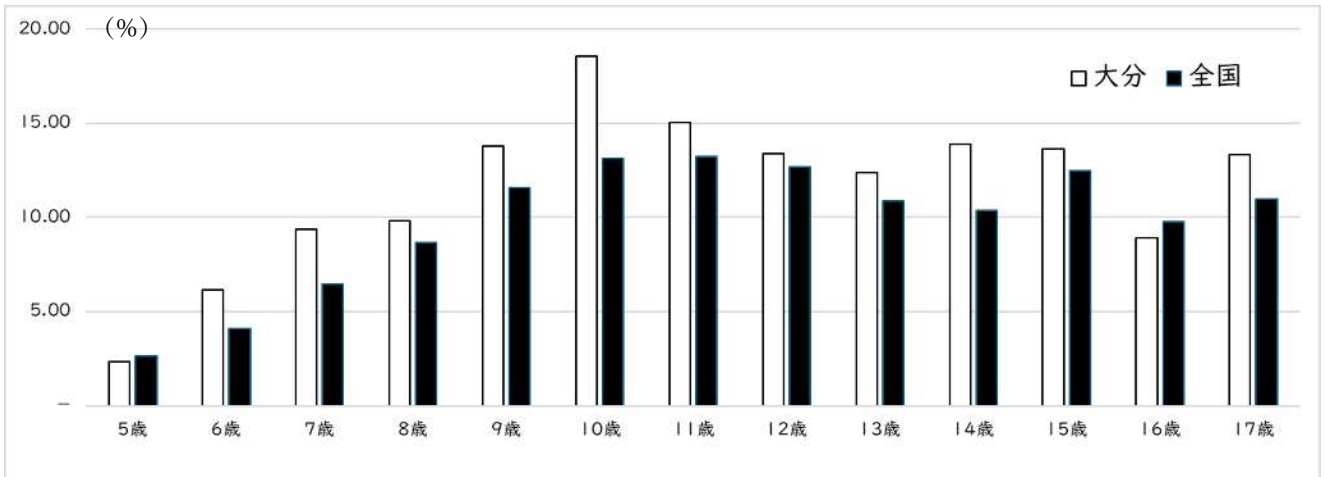
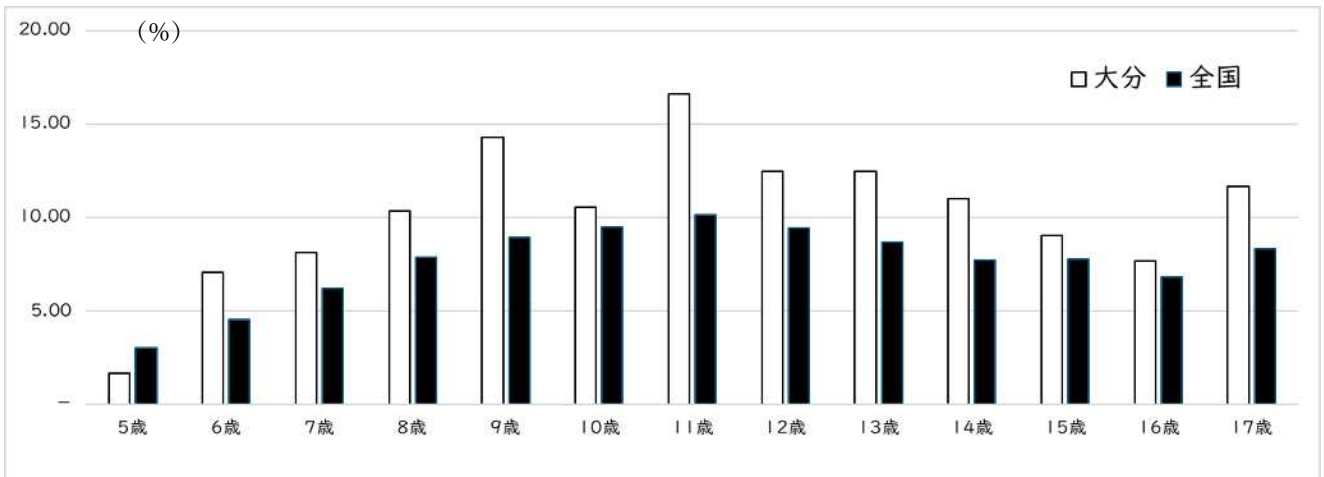


図16 肥満傾向児の出現率の大分と全国の比較(女子)



(2) 痩身傾向児の出現率

ア 男女をあわせた痩身傾向児の出現率は、6歳、15歳の年齢で全国値を上回っている。

イ 痩身傾向児の出現率が最も高い年齢は、男子が15歳で4.19%、女子16歳で3.34%である。

図17 痩身傾向児出現率の推移(平成28年度～令和7年度)(大分県男子)

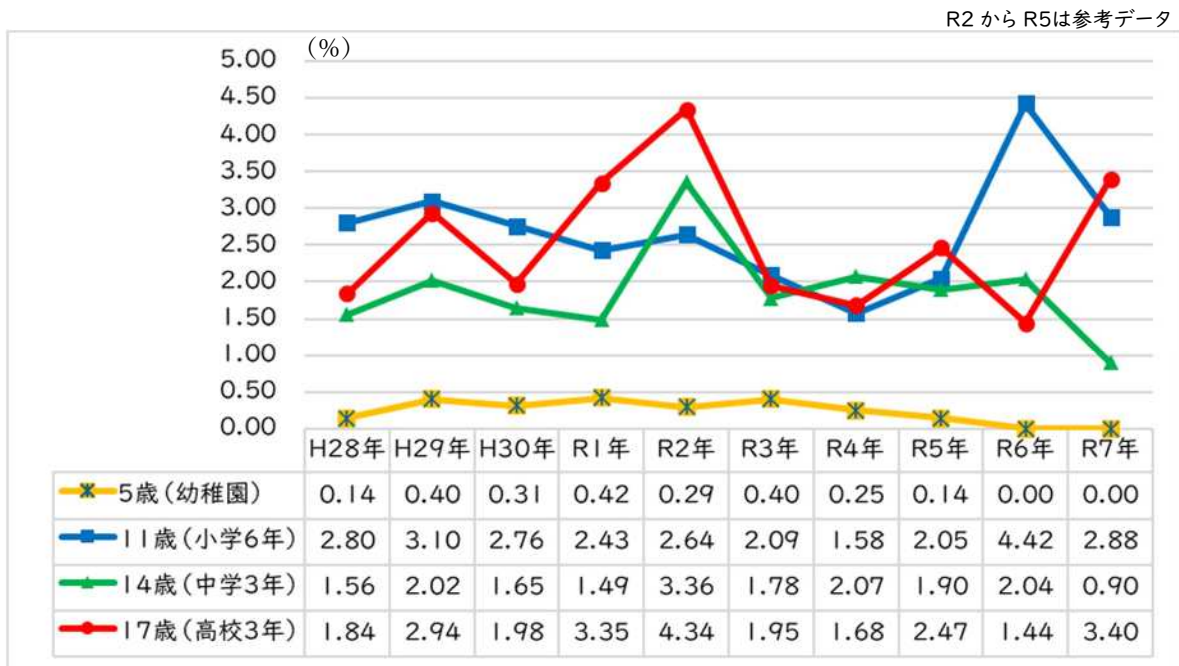


図18 痩身傾向児出現率の推移(平成28年度～令和7年度)(大分県女子)

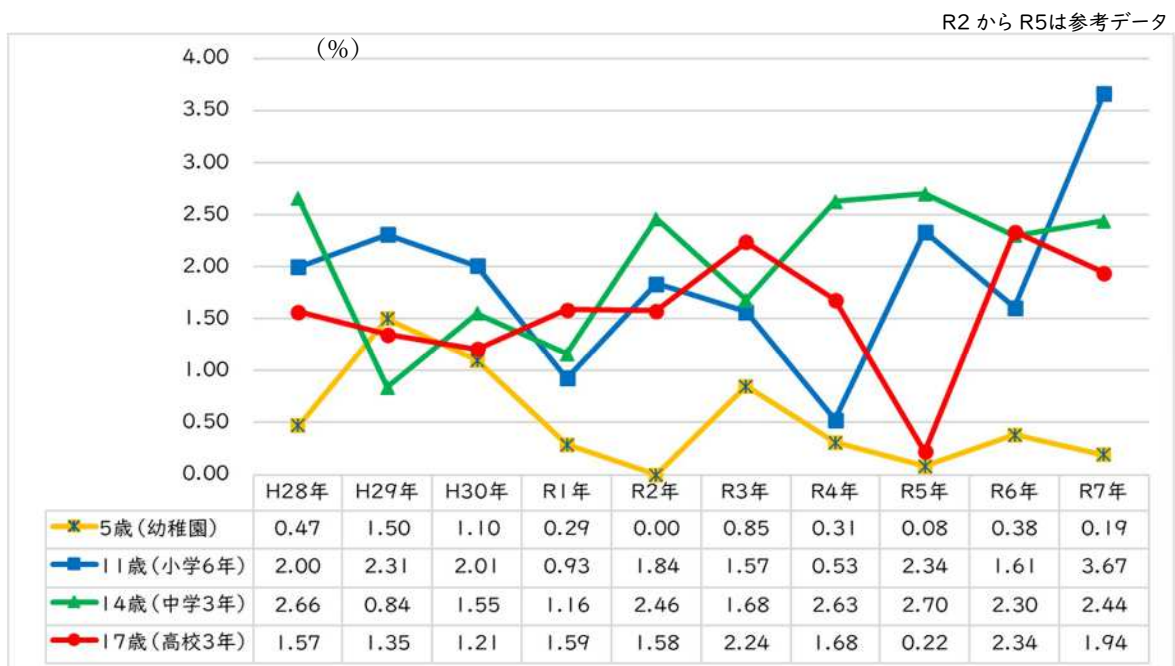


表12 痩身傾向児の出現率の大分と全国の比較

(単位：%)					(単位：%)				(単位：%)					
区分		痩身傾向時児の出現率			区分		痩身傾向時児の出現率		区分		痩身傾向時児の出現率			
		大分	全国	大分			全国	大分			全国			
男女計	幼稚園	5歳	0.09	0.21	男子	幼稚園	5歳	-	0.22	女子	幼稚園	5歳	0.19	0.20
	小学校	6歳	1.07	0.55		小学校	6歳	0.26	0.40		小学校	6歳	1.89	0.70
		7歳	0.34	0.48			7歳	-	0.39			7歳	0.70	0.57
		8歳	1.21	1.13			8歳	1.63	1.12			8歳	0.75	1.14
		9歳	1.46	1.68			9歳	1.85	1.59			9歳	1.05	1.77
		10歳	1.77	2.83			10歳	1.41	2.88			10歳	2.16	2.78
	中学校	11歳	3.27	3.40		中学校	11歳	2.88	3.70		中学校	11歳	3.67	3.09
		12歳	2.68	3.94			12歳	3.00	3.44			12歳	2.34	4.46
		13歳	2.58	3.25			13歳	1.95	2.76			13歳	3.23	3.76
		14歳	1.66	3.26			14歳	0.90	3.07			14歳	2.44	3.46
	高等学校	15歳	3.71	3.62		高等学校	15歳	4.19	3.66		高等学校	15歳	3.22	3.58
		16歳	2.69	3.17			16歳	2.07	3.21			16歳	3.34	3.13
		17歳	2.70	2.91			17歳	3.40	3.41			17歳	1.94	2.38

図19 痩身傾向児の出現率の大分と全国の比較(男女)

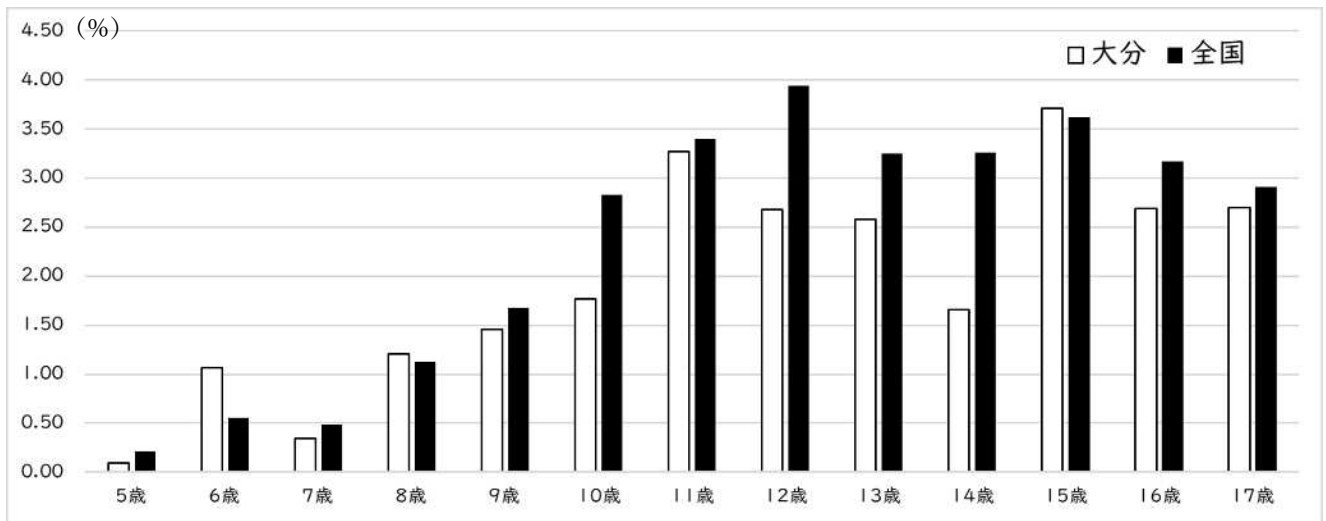


図20 痩身傾向児の出現率の大分と全国の比較(男子)

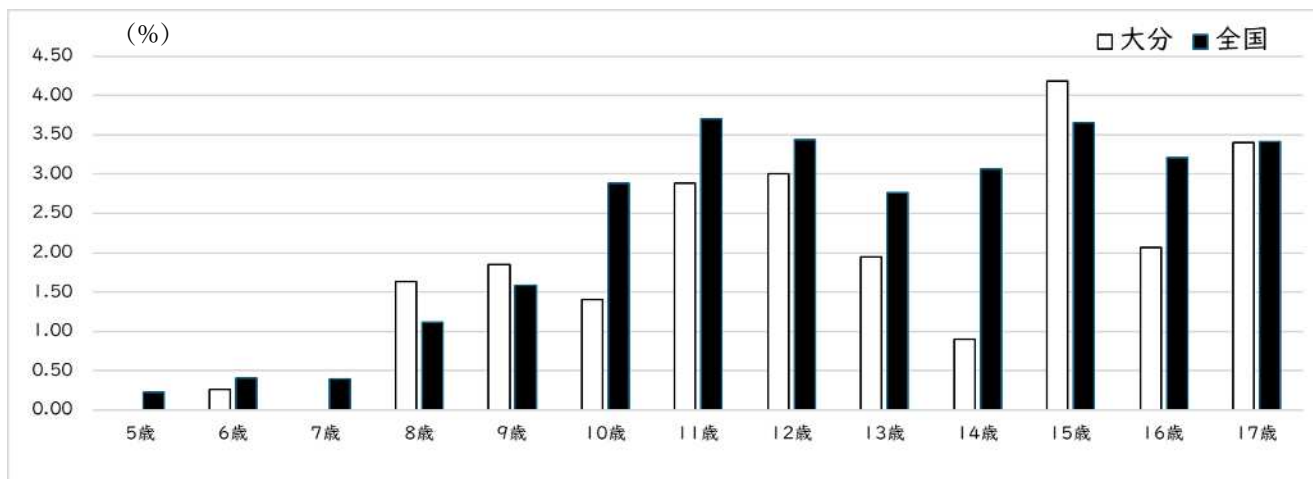
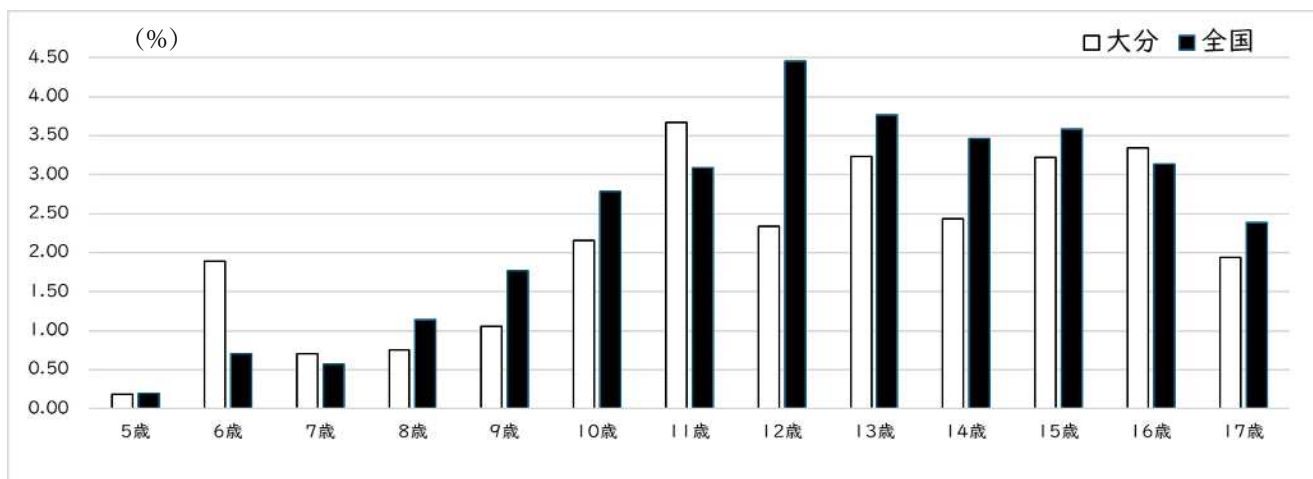


図21 痩身傾向児の出現率の大分と全国の比較(女子)



#### 4 【参考】肥満・痩身傾向児の算出方法について

性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度(過体重度)を算出し、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。

肥満度の求め方は次のとおりです。

$$\text{肥満度(過体重度)} = [\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100(\%)$$

※ 身長別標準体重を求める係数と計算式

$$\text{身長別標準体重(kg)} = a \times \text{実測身長(cm)} - b \text{ 係数年齢}$$

年齢	係数		男		女	
	a	b	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750		
6	0.461	32.382	0.458	32.079		
7	0.513	38.878	0.508	38.367		
8	0.592	48.804	0.561	45.006		
9	0.687	61.390	0.652	56.992		
10	0.752	70.461	0.730	68.091		
11	0.782	75.106	0.803	78.846		
12	0.783	75.642	0.796	76.934		
13	0.815	81.348	0.655	54.234		
14	0.832	83.695	0.594	43.264		
15	0.766	70.989	0.560	37.002		
16	0.656	51.822	0.578	39.057		
17	0.672	53.642	0.598	42.339		

出典:公益財団法人日本学校保健会「児童生徒の健康診断マニュアル(平成27年度改訂版)」

表13 令和7年度調査における平均身長の場合の標準体重(大分)

年齢	大分							
	男子				女子			
	平均身長 (cm)	平均身長時の 標準体重 (Kg) A	平均体重 (Kg) B	差 B-A (Kg)	平均身長 (cm)	平均身長時の 標準体重 (Kg) C	平均体重 (Kg) D	差 D-C (Kg)
5歳	110.2	18.8	18.9	0.1	109.2	18.4	18.6	0.2
6歳	115.8	21.0	21.2	0.2	115.1	20.6	21.0	0.4
7歳	122.1	23.9	24.6	0.7	121.9	23.8	23.8	0.0
8歳	128.2	26.9	27.8	0.9	127.1	26.2	27.0	0.8
9歳	133.5	30.2	31.2	1.0	133.7	30.0	31.1	1.1
10歳	139.1	34.2	36.1	1.9	140.5	34.6	35.1	0.5
11歳	145.5	39.0	40.0	1.0	147.5	39.6	41.1	1.5
12歳	153.6	45.0	45.6	0.6	152.1	43.3	45.4	2.1
13歳	160.9	50.3	51.0	0.7	154.8	46.3	48.2	1.9
14歳	165.7	53.7	55.9	2.2	155.8	47.8	50.4	2.6
15歳	167.8	56.0	59.3	3.3	156.2	49.5	51.0	1.5
16歳	169.5	58.8	60.8	2.0	156.9	50.9	51.2	0.3
17歳	169.9	59.6	62.3	2.7	157.2	51.8	53.1	1.3